

第3期原子力基盤クロスオーバー研究の研究テーマ名等について

平成 10 年 2 月 3 日
科学技術庁原子力局研究技術課

平成 11 年度～15 年度に実施する第3期原子力基盤クロスオーバー研究の技術分野名及び研究テーマ名は、以下のとおりである。

1. 放射線生物影響分野

- ① 放射線障害修復機構の解析による生体機能解明研究
- ② 放射性核種の土壌生態圏における動的解析モデルの開発

2. ビーム利用分野

- ① 高品位陽電子ビームの高度化及び応用研究
- ② マルチレーザーの製造技術の高度化及び利用研究
- ③ アト秒パルスレーザー技術の開発及び利用研究

3. 原子力用材料技術分野

- ① 原子力用複合環境用材料の評価に関する研究

4. 知能システム科学技術分野（ソフト系科学技術分野）

- ① 人間共存型プラントのための知能化技術の開発

5. 計算科学技術分野

- ① 計算科学的手法による原子力施設における物質挙動に関する研究

(参考1)

第3期クロスオーバー研究の技術領域の設定について

「原子力の研究、開発及び利用に関する長期計画」(平成6年6月)に沿って、技術領域を7領域から5領域に再編した。

原子力用材料	——→原子力用材料技術
原子力用人工知能 知的活動支援	——→知能システム科学技術 (ソフト系科学技術)
原子力用レーザー	——→ビーム利用
放射線ビーム利用先端計測・分析	——→
放射線リスク評価・低減化	——→放射線生物影響
原子力用計算科学	——→計算科学技術

原子力基盤クロスオーバー研究の研究テーマの推移

